

NPO 法人 発達障害 支援ネット「YELL」

団体紹介ページ



ふなばし市民力発見サイトへリンク

発達障害に関する講演会

地域での課題

- 特別支援教育の地域における啓発が十分進んでいるとはいえない
- コロナとの共存が長期化することで、閉塞感を抱え精神的にも負担が増している市民も多くなっており、悩みを一人で抱えやすい状況である
- 当事者の年齢が上がるに従い、家族が取り組まなければならない課題が変化する
- コロナ禍の影響でマイノリティーを受け入れるための支援体制が後回しになったり、活躍のチャンスが減ったりしやすく、その影響はしばらく続く可能性がある
- 令和3年度の講演会において、就労の前段階に親や支援者ができることを知りたいという新たなニーズがあることが判明した



事業内容

- 会場とオンラインのハイブリットで、家族や支援者向けの発達障害に関する学習会を年2回開催
- 主に発達障害のある人の家族や支援者及びが対象
- 講座内容 発達障害のある子どもや関わりの難しい子どものライフスキルアップにつながる関わりや支援



事業を通じて期待すること

- 支援や関わりに悩みを抱える家族や支援者などが、自分だけではないと感じることができ、具体的な情報や対応方法を知るとともに、仲間づくりにも役立つ

担当者	宗形 奈津子
連絡先	newinfo@shiennet-yell.page